

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 5 政策・方針の決定過程における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (1) 審議会等における女性の登用推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

059	事業名	審議会等への女性の登用推進	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市の審議会等における女性の登用を推進する。		・行政推進会議及び幹事会で全庁的に働きかけを行う。・審議会委員の改選時期に合わせて、女性の登用について各課に対して個別に働きかけを行う。(事前協議)		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 全庁的な男女共同参画推進体制である行政推進会議(部長級で構成)及び幹事会(課長級で構成)で働きかけを行ったほか、審議会等の改選時期に合わせて所管課所の担当者と事前協議を行い、女性の登用について配慮を依頼した。				
【活動実績(活動指標)】 働きかけの回数 〈目標〉 1 回 〈実績〉 31 回 達成度 5 (十分に達成できた)		【取り組みの成果(成果指標)】 女性の登用率 〈目標〉 35 % 〈実績〉 28.2 % 達成度 4 (概ね達成できた)		
行政推進会議(1回)、幹事会(1回)、事前協議(29回) また、行政管理課と合同で、審議会等の情報をまとめた「審議会等ガイドブック」を作成し、地区センター等への設置やホームページへの掲載を行った。		平成30年4月1日現在 審議会等・・・行政委員会、法令等審議会、要綱等協議会(※H29.4より追加)		
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要)		全庁的な男女共同参画推進体制である行政推進会議(部長級で構成)及び幹事会(課長級で構成)で働きかけを行ったほか、審議会等の改選時期に合わせて所管課所の担当者と事前協議を行い、女性の登用について配慮を依頼した。平成30年度4月1日現在の登用率は28.2%となり、目標値の35%を達していないことから、より積極的な取り組みが必要と考えている。		
〈H28実績〉 C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
女性の専門家が少ない分野や、あて職の委員が多い審議会等の場合、委員の選任に所管課の裁量が及びにくい状況がある。		女性の登用の余地がある審議会等については、事前協議において引き続き所管課に積極的な働きかけを行う。		

060	事業名	男女共同参画チャレンジリスト登録者への情報提供	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民(チャレンジリスト登録者)に、審議会委員の公募に関する情報提供を行い、審議会等における女性の登用を推進する。		審議会への女性の参画を支援するための講座受講者等のうち、希望者にチャレンジリストに登録してもらい、公募委員を募集する各審議会の情報を提供する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 チャレンジリスト登録者に対して、年度当初に、その年度内に公募委員を募集する審議会の情報提供を行った。また、登録者への公募委員募集情報の個別送付を希望する審議会の所管課所に対して、同意をもらった登録者の情報提供を行った。				
【活動実績(活動指標)】 チャレンジリスト登録者数 〈目標〉 82 人 〈実績〉 77 人 達成度 4 (概ね達成できた)		【取り組みの成果(成果指標)】 登録者のうち年度内に公募委員になった人数 〈目標〉 8 人 〈実績〉 14 人 達成度 5 (十分に達成できた)		
内訳:女性57人、男性20人(平成30年4月1日現在)		平成30年4月1日現在、登録者のうち公募委員の人数		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		公募委員募集のために依頼のあった課には、チャレンジリストの提供を適宜行った。		
〈H28実績〉 A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 5 政策・方針の決定過程における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (1) 審議会等における女性の登用推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

061	事業名	審議会等における女性の登用推進のための講座の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター 45,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
主として女性に、審議会等への参画についての意識を高め、審議会等における女性の登用を推進する。		審議会等への女性の参画を支援するための講座を、人権・男女共同参画推進課と連携して開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 女性の審議会等の政治参画意識を高めるために、①6/14「女性の力が地域を変える」、②6/21「審議会について知ろう!」の2回連続講座を実施した。講座修了者のうち、希望者が3回目の6/29「審議会へ行こう」にて実際に審議会を傍聴した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 100 % 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> 80 % <実績> 84 % 達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:50人(女性46人、男性4人) 募集人数:50人(①30人②20人) 3回目 参加人数:4人		「審議会とはどういうものか全く知らなかったが、内容などを知ることができてよかった」などの感想があった。また、実際に審議会を傍聴した参加者からは「審議会傍聴をして、なぜ私たちが声を上げなければならないのか理解できた」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		講座内で審議会委員や市担当者の話を聞くことにより、審議会に対する理解が深められ、市のチャレンジリストに2人が登録した。また、実際の審議会を傍聴することで、審議会への参画意識が高まった。		
<H28実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
参加者のほぼ全員が40歳代以上となり、働く子育て世代など、若年層の参加者がいなかった。		SNSによる情報発信や市内大学への案内など、若年層に向けた広報を工夫する。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 5 政策・方針の決定過程における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (2) 女性人材の育成

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

062	事業名	女性職員の人材育成・登用促進	課所 事業費	人事課 140,400円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
政策決定過程における男女共同参画を推進するため、行政内部においても、女性人材の能力開発、登用を促進する。		女性職員を対象としたエンパワーメント研修等を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 女性の能力開発・発揮を目的とした「女性職員エンパワーメント研修(女性の強み・弱み、ワークライフバランス等)」を実施した。(6/6実施)				
【活動実績(活動指標)】 女性の能力開発のための研修の受講者数		【取り組みの成果(成果指標)】 主幹職以上に占める女性の割合		
<目標> 25 人 <実績> 35 人 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> 32 % <実績> 29.2 % 達成度 4 (概ね達成できた)		
目標値(25人の受講枠)を設け、女性人材の能力開発に努めた。		行政職及び医療職の職員のうち、主幹級以上の職員に占める女性の割合(平成30年4月1日現在)		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		目標値を設け、女性人材の能力開発、主幹級以上の女性の割合の拡大に努めた。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (1) 女性の就業機会の拡大推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

063	事業名	育児休業取得中の女性を支援する講座の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター 163,050円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
育児休業を取得した女性が就業継続し、スキルアップに繋がる支援をする。		育児休業取得中の女性が仕事に復帰していくため、具体的に役立つ知識やスキルを習得できる講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 NPO法人子育てサポーター・チャオと協働で、育休取得中の女性を対象に、連続講座を2回実施した。①5/30と8/30「市内の保育所情報を知ろう」、②6/4と9/2「パートナーとともに聞く 仕事と育児 両立の極意」、③6/11と9/10「パートナーとともに聞く先輩ママの体験談」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 96 %		<目標> 80 % <実績> 92 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:女性92人(6月44人、9月48人) 募集人数:6月48人(16人×3回)、9月48人(16人×3回)		「申請方法や保育園の入所状況などを知ることができた」「復職に向けて自分の気持ちが引き締まり、意欲が向上した」「先輩ママのお話は説得力があり、夫婦間での協力の重要性がよく分かった」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		パートナー同伴可能としたことで、夫婦による家事・育児の協働についての学びや意識の共有が図られた。男性も「当事者」として女性の職場復帰に関わっていくための意識啓発の一助となった。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

064	事業名	女性の再就職に関する講座の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
再就職を希望する女性の就職を支援する。		再就職を希望する女性の就職を支援するための講座やワークショップ等を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 埼玉県女性キャリアセンターと共催で、就職を希望する女性を対象に11/21「これで安心！面接準備セミナー」を実施した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 70 %		<目標> 80 % <実績> 100 %		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:14人(女性14人) 募集人数:20人		「自分で実践、それを評価してもらうことで、分かりやすかった」「就職活動の面接に活かすことができ、参加してよかった」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		少人数ごとに面接のロールプレイを行い、講師からのアドバイスとともに受講者同士で評価し合うという講座の進め方が、参加者の面接に対する苦手意識や不安の払拭と自信回復につながり、女性の再就職を支援した。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (1)女性の就業機会の拡大推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

065	事業名	女性のための就職支援セミナー	課所 事業費	産業支援課 150,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性の就職を支援する。		女性の就職を支援するためのセミナー(講座)を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】「女性のための就職支援セミナー(市主催)」①5/18(参加者20名)、②6/22(参加者12名)、③8/17(参加者9名)、④10/19(参加者8名)、⑤12/14(参加者3名)				
【活動実績(活動指標)】 参加率 <目標> 80 % <実績> 52 % 達成度 3 (達成まで今一歩)		【取り組みの成果(成果指標)】 満足度 <目標> 95 % <実績> 100 % 達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:52人 募集人数:100人 定員は20名であるが、雇用情勢の好転も影響してか各回のセミナーは定員を満たすほどの申込はなく、また申込があっても就職が決まった等の理由により欠席の方も多かった。		「満足」、「ほぼ満足」という集計結果が得られている。		
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要) <H28実績> A		専門のキャリアコンサルタントによる最新の就職支援セミナーであり、内容もグループワークを中心とした高度なものではあったが、参加者の満足度も高く、アンケート結果でも高評価を得ることができた。ただし、セミナー申込者については雇用情勢や景気動向の影響を多大に受けると考えられ、参加者数については、しばらく現況のまま推移すると思われる。		
認識した課題		課題解決に向けた対応		
雇用情勢等も関係するため、一概は言えないが、セミナー参加者が減少している。		引き続き、参加者を広く募集するための周知に努める。		

066	事業名	女性の就業支援事業	課所 事業費	産業支援課 3,628,800円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
女性の就職支援の一環として専門のキャリアコンサルタントを配置し、就職に向けたきめ細かな総合的カウンセリングを実施し、早期就職の促進を図る。		委託事業としてキャリアコンサルタントを配置し、個別にカウンセリングを実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】専門のキャリアコンサルタントによる総合的なカウンセリングを実施(月曜～金曜、午前9時～午後5時、受付は午後4時30分まで。正午～午後1時を除く)				
【活動実績(活動指標)】 相談件数(延べ) <目標> 244 件 <実績> 113 件 達成度 2 (達成は不十分)		【取り組みの成果(成果指標)】 相談終了者の就職率 <目標> 72.8 % <実績> 40.0 % 達成度 2 (達成は不十分)		
好況と言われている昨今の雇用情勢や景気動向も影響してか、相談件数の総数も減少しており、相対的に女性の相談件数も減少となっている。		女性相談終了者40人 内訳(就職:16人、未就職:24人) (相談終了者には自己都合による終了や関係機関を案内した者も含まれている)		
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要) <H28実績> D		相談件数や相談者の就職率等はその時々々の社会状況が反映されるものと考えられ、達成度のみでは一概に判断できないと考える。事業としては、相談から就職までスピード感ある相談が実施できており、実績も良好なものであると捉えている。		
認識した課題		課題解決に向けた対応		
本事業の意図するところは、早期就労促進・就職後の定着にあるが、相談者には複合的な問題を抱えている場合も多く、年々相談者へのフォローが困難なケースが増えている。		現場における相談者への的確なフォローもしつつ、対応困難ケースについては関係機関(主に福祉)との連携協力がよりスムーズにいくよう努める必要がある。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (1) 女性の就業機会の拡大推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

067	事業名	母子家庭等の就労支援	課所	子育て支援課
			事業費	28,040,098円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段	
母子及び父子家庭の母親及び父親の就労を支援する。			母子及び父子家庭の母親及び父親の就労に結びつくような情報の提供に努めるとともに、就労に有効な資格の取得を支援するため、母子自立支援員の面接を通し、教育訓練給付金などの支給を行う。	
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 就労に結びつきやすい知識・技能を身につけるため、雇用保険法で定める教育訓練講座を受講し、修了した場合に受講費用の一部を支給した。				
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】	
支給件数				
<目標> 1 件 <実績> 39 件			<目標> <実績>	
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 5 (十分に達成できた)	
母子家庭等自立支援教育訓練給付金10件、高等職業訓練促進給付金29件を支給した。			給付金などの支給を行うことで、就労を支援することができた。	
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			今後も適切に対応する。	

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (2) 起業・自営業などへの支援

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

068	事業名	女性の起業支援に関する講座の開催	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	50,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段	
女性が主体的に能力を発揮できる力(エンパワーメント)をつけるための学習機会を提供し、起業を視野に入れた女性の能力向上を図る。			女性が企業で働くだけでなく、起業する、NPOを立ち上げるなど、多様な働き方の選択ができるようなワークショップを中心とした講座を開催する。	
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 産業支援課、越谷商工会議所との共催で女性の起業を支援する3回連続講座を実施した。3回目は、出店の疑似体験を行うことで、価格設定も含めた商品準備やディスプレイ、販売・試食の接客を実践的に学ぶ機会を提供した。①9/6「具体的な起業プランを決める」、②9/27「マルシェ出店に向けて」、③11/25「ミニマルシェを開催」				
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】	
参加率			満足度	
<目標> 80 % <実績> 100 %			<目標> 80 % <実績> 98 %	
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 5 (十分に達成できた)	
参加人数:79人(女性79人) 募集人数:60人(20人×3回)			「新しいアイデアが浮かんだ。自分の考えも深められたし、他の方々の考えやアイデアも聞けた」「人脈という貴重なものを得られた」「自分のやりたいことや目的をはっきりと見つけることができ、前向きな気持ちになった」などの感想があった。	
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)			連続講座だけでなく、各回毎に講師へのレポート提出や勉強会・意見交換会の実施など、販売・接客を実践的に体験する「ミニマルシェ」出店に向けた継続的な支援を行うことで、参加者の起業に対するイメージをつかみやすくなった。	
<H28実績> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			今後とも適切に事業を実施する。	

069	事業名	女性起業家の育成支援	課所	産業支援課
			事業費	ー円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段	
女性の起業を促進し、新たな産業や雇用の創出及び市内産業の振興を図る。			女性の起業希望者や起業間もない方を対象に創業相談及び創業支援セミナーを実施する。また、創業に係る初期費用及び事業を営むための貸室に係る家賃の補助を行う。	
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 ①二番館における専門家による創業相談、②8/22、8/29「女性起業支援セミナー」(参加者:1日目32名、2日目33名)、③起業家支援補助金:女性・若者の補助対象者については補助金額を上乗せする(女性の補助対象者:2名)				
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】	
女性の創業相談件数			女性の起業を支援した数(累計)	
<目標> 44 件 <実績> 38 件			<目標> 38 件 <実績> 19 件	
達成度 4 (概ね達成できた)			達成度 2 (達成は不十分)	
創業相談窓口やセミナー、補助金額の上乗せを行い、それらの周知強化・認知度向上に努めたが、目標には届かなかった。			創業希望者等に対し、各種創業支援施策を広く周知する必要がある。	
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要)			平成29年度起業家支援セミナー受講者のうち、約56パーセントは女性となっている。また、女性起業支援セミナーでは、男女共同参画支援センター主催の講座との連携に努め、入門編・応用編の計2日間、グループワークなどを交えて創業の基礎的知識の習得が出来るよう講座内容を工夫した。	
<H28実績> C				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
女性のセミナー参加者増加と、起業家支援補助金採択事業者2名という一定の効果は得られたが、達成度を上げるため、より一層周知を図る必要がある。			創業希望者等に対し、セミナー及び制度の周知強化を図る。また、支援後の創業実績調査の徹底を図り、フォローアップを強化する必要がある。	

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (2) 起業・自営業などへの支援

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

070	事業名	家族経営協定の推進	課所	農業振興課	事業費	0円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市内で農業を営む世帯における女性従事者の労働環境の向上を図る。			農業を営む家族間の話し合いのもとで共同経営環境の取り決めをする「家族経営協定」の普及拡大のため、農家への戸別訪問による啓発パンフレットの配布や制度説明、農業団体へのPRなどを行う。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 各農業団体の会議等において、家族経営協定の制度を説明し、PRを行った。						
【活動実績(活動指標)】 農業団体へのPR活動			【取り組みの成果(成果指標)】 協定の締結件数(累計)			
<目標> 6 回 <実績> 6 回 達成度 5 (十分に達成できた)			<目標> 38 件 <実績> 32 件 達成度 4 (概ね達成できた)			
越谷市担い手育成総合支援協議会、JA越谷市女性部等の農業団体の会議においてPRを行った。						
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<H28実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
家族経営協定の締結に向け、制度説明やPRを推進しているところであるが、積極的に取り組む農業者が少ない。			制度の概要に加え、労働環境の向上を目的とした家族経営協定の意義やメリットについて、農業者に対し積極的に周知、PRする。			

071	事業名	女性の農業従事者支援	課所	農業振興課	事業費	500,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市内の農業に携わる女性組織の活動を支援し、農業における女性の地位向上や経営参画推進を図る。			越谷市農業担い手育成総合支援協議会を通して、JA越谷市女性部に補助金を交付することで、農業経営に関する講座の開催、先進事例の研究、地域交流などを支援する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 JA越谷市女性部を通じて、地場農産物を利用した料理講習会や、市民まつり、産業フェスタ等での加工品販売、視察研修等を実施した。また、農業経営への女性参画や女性農業起業家の育成に取り組んだ。						
【活動実績(活動指標)】 事業の開催回数			【取り組みの成果(成果指標)】			
<目標> 75 回 <実績> 60 回 達成度 4 (概ね達成できた)			<目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)			
女性農業起業家としての自立を目標に、農産物の地産池消推進や、地場農産物を利用した加工品の販売を行った。						
事業の評価						
B (概ね順調に取り組んでいる)						
<H28実績> B						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
女性農業起業家としての自立や経営の安定化が十分に図れていない。			地場農産物を利用した加工品のPRや女性農業者間の交流・情報交換等を推進することで、女性農業者の、女性ならではの発想やネットワークを活かした活動を促進し、起業家としての自立や経営の安定化を図っていく。			

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (3) 職場環境の整備

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

072	事業名	ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 49,701円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市内の事業者へ、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について普及・啓発を行う。		ワーク・ライフ・バランスに関係する取り組みを行っている市内の事業者インタビューし、その効果などをまとめたリーフレットを市内事業者に配布する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 ワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組んでいる市内事業者(中島プレス工業株式会社)へのインタビュー記事を掲載したリーフレットを作成し、市内の企業経営者を中心に配布した。(配布部数:約2,500部)				
【活動実績(活動指標)】 リーフレットの配布		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> 1 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
越谷法人会に依頼し所属している市内企業(約2,300社)にリーフレットを配布し、企業経営者に周知を行った。このほか、産業支援課窓口及び「ほっと越谷」にも配架した。		法人会会報への同封により、人事労務担当や企業経営者の元に直接リーフレットが渡るようにしたことで、通常の配架よりも効果的な啓発を行うことができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
啓発の効果を高めるため、企業への直接的な啓発を継続する必要がある。		今後とも、市内企業に対するワーク・ライフ・バランスの直接的な啓発手法を模索していく。		

073	事業名	事業者を対象とした男女共同参画に関する事業の実施	課所 事業費	男女共同参画支援センター 45,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
事業者へ男女共同参画意識の普及・啓発を図り、職場における男女共同参画を推進する。		事業者を対象として、ワーク・ライフ・バランスなどに関する講座等を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 越谷商工会議所と共催し、女性経営者・企業で働く女性・起業を考える女性を対象に、自分らしく働き続けられる職場づくりについて学ぶ講座を実施した。11/14「自分らしく働き続けるために～課題や悩みをグループワークで解決しませんか?～」				
【活動実績(活動指標)】 実施事業数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> 1 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:13人(女性13人) 募集人数:20人		「力強く前に進んでいる人たちの話を聞いて、力がわく気がした。常に前進し、さまざまなことを考えていくことが大事だと感じた」「壁のないコミュニケーションスタイルが良かったです。」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を推進する。		

基本目標 III あらゆる分野における男女共同参画の推進
 施策の方針 6 就労における男女共同参画の推進
 取り組みの方向 (3) 職場環境の整備

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

074	事業名	就労に関する法制度等の普及・啓発	課所 事業費	男女共同参画支援センター 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民に就労に関する法制度の普及・啓発を図り、職場における男女共同参画を推進する。		配偶者控除、育児・介護休業法、パートタイム労働法など、就労に関する法制度について講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 埼玉労働局と共催で、10/18「相談事例から学ぶパートタイム労働法講座」を実施した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 100 %		<目標> 88 % <実績> 81 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
参加人数:32人(女性29人、男性3人) 募集人数:30人		「パートにも法律など、きちんとした権利があることがわかりました」「無期転換ルールのことを知ることでもできて参加して良かった」「グループトーク(グループで悩みや疑問を話してみよう)がとても良かったです」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		参加者のうち事前にパートタイム労働法を知っていた人は4人のみだったが、講座終了後のアンケート結果では、全員が「理解できた」、「どちらかといえば理解できた」と回答し、パートタイム労働法について理解を深めることができた。		
<H28実績> D				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

075	事業名	職員に対するハラスメント対策の充実	課所 事業費	安全衛生管理課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
ハラスメントのない、男女がともに能力を発揮できる職場環境を形成するため、職員に対する意識啓発を図る。		ハラスメントに関する研修等を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 新採用職員研修、中級研修(入庁後6年目)、上級研修(入庁後12年目)、新任主査研修、新任主幹研修及び特別研修において、セクシュアルハラスメントに関する研修を実施した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
ハラスメントに関する研修受講者数		ハラスメント発生件数		
<目標> 1 人 <実績> 382 人		<目標> 0 件 <実績> 0 件		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
内訳:新採用(女性83人、男性46人)、中級(女性51人、男性39人)、上級(女性20人、男性27人)、新任主査(女性14人、男性36人)、新任主幹(女性18人、男性27人)、特別(女性6人、男性15人)				
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		研修を実施してきたことにより、ハラスメントに対する問題意識が深まり、相談窓口の認知が高まった。これは事業の成果の一面と言えるが、目標はハラスメントのない職場環境である。		
<H28実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
ハラスメントに関する正しい認識の一層の定着が必要であるとする。		研修の継続・反復実施及び相談窓口の周知・利用促進に努める。		